

2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 小樽後志地域障がい者就業・生活支援センターひろば

実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業 〔雇用安定事業/生活支援事業〕	登録者 見込み	相談件数 (年計)	職場実習/準 備支援件数	就職支援 件数	定着支援 件数
身体障がい	35 名	220 件	2 件	3 件	20 件
知的障がい	150 名	3000 件	12 件	20 件	650 件
精神障がい	135 名	2700 件	10 件	20 件	350 件
発達障がい	25 名	600 件	5 件	5 件	40 件
高次脳機能障がい	5 名	10 件	2 件	1 件	10 件
難病	5 名	20 件	2 件	1 件	10 件
その他	45 名	1450 件	2 件	10 件	30 件

年間の事業実施予定日	<p>■開所日 月～金曜日 08:30～17:30 土曜日 08:30～12:30</p> <p>■休館 土曜日午後 日曜日・祭日 年末年始(12/29～1/3)</p>
------------	---

職員体制(2019 年 4 月 1 日)

職 種		員 数	区 分				常勤換 算後の 職員数	摘 要
			常 勤		非常勤			
			専従	兼任	専従	兼任		
管理者		1		1			0	
雇 用 安 定 生 活	科長) 主任就業支援担当者	1	1				1	
	就業支援担当者	1			1		1	
	就業定着支援担当者	2	1		1		2	
生 活	生活支援担当者	1	1				1	
	生活支援担当者	1			1		0.5	
その他		0						
合 計		7	5	1	1		6.5	

重点推進目標(3点)

○支援姿勢

【考え方】職業・生活相談の背後にある人生（個人史）を受け止め、尊重し、未来志向の応援(支援)をさせていただきます姿勢でご支援致します。

【実践】相談者があるがままに受容、共感し、丁寧なアセスメントを通して希望に向けた取り組みを提案し、共に目標達成を目指します。

○支援スキルの向上

【考え方】就業支援事業に期待されている精神障害者手帳所持者や発達障害診断をはじめ難病、高次脳機能障害の方々への「働きたい」「働き続けたい」という願いを応援するために専門性が発揮されている支援技法等を積極的に学び、支援に活かして参ります。

【実践】個の支援力から地域の支援力の向上へ

- ・ツールやシステムを活用したアセスメントを主観・客観的に評価し支援に役立てていく。
インテーク時のアセスメント・直Bアセスメント・定着アセスメント・環境アセスメント
- ・多面的な視点をもった個別支援を作成し人生設計に反映できるよう努める。
- ・地域の支援機関と共通場面で脂質向上を図る企画を創出する

■アセスメント

- ・職業準備期の支援 能力評価 模擬的経験から実践的経験
- ・求職活動機の支援 模擬的経験から実践的経験 環境分析とマッチング
- ・就業導入期の支援 社会人としての成長促進の視点 理解促進の視点（環境）
- ・就業定着期の支援 社会人としての成長促進の視点 理解促進の視点（環境）キャリアアップ

○地域全体で支える体制を充実強化

■異業種連携

- ・資源（機能）開拓、開発

■職場実習の促進及び職場定着支援の充実

- ・自信と安心感を得られる模擬的職業経験の積み重ね
- ・職業とともに歩む人生設計

■生活困窮自立支援事業との効果的な連携

- ・障がい者の就業支援のノウハウを有効活用した連携支援
- ・そのために相互の事業に協力連携を通して関係性を発展させていく

支援計画

■体制

所長（兼任）1名、主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名(1名定着)、生活支援担当者（2名）を配置し、以下の業務を行う。

1. 就業・生活支援の実施

（1）相談・支援の実施

○障がい者等からの相談に応じ、就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な助言及び支援を行う。

○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。

○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習の機会を創出する。

（2）職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

○在職中の対象障がい者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、適応困難な課題の早期把握・改善を図り職場定着を促進する。また、職場定着支援により対象障がい者が働く上で必要なコンディションを保ち、より豊かな就労生活が送られるよう自助、共助を促進する。（年10回以上）

・ひろばの集い：交流事業、研修事業

(3) 就業・生活支援担当者の研修等の計画

○障害者職業総合センターが主催する就業支援担当者研修を受講し、就業支援担当者としての業務のスキル習得を図る。(必須研修～千葉県：就業定着支援担当者1名)

○障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(東北・北海道ブロック研修～岩手県：就業定着支援担当者1名)

○全国就業支援ネットワークが主催する定例研究・研修会に出席し他のセンターとの交流・情報交換を行う。(秋田県～就業支援担当者1名)

○全国就業支援ネットワークが主催する「障がい者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム」に出席し変化に富んだ制度や情勢を的確につかみ事業に反映させる機会とする。(東京都～主任就業支援担当者1名)

○就労支援フォーラム NIPPON (日本財団主催) に出席し障害者の就労の問題や支援の問題を的確に捉え対応するべく方向性を学び支援の実際やセンター運営に反映する。

(東京都～主任就業支援担当者1名)

○全道就業・生活支援センター研修会(年2回各2名/開催地①函館②旭川)

～主任就業支援担当者・就業支援担当者・就業定着支援担当者・生活支援担当者

○その他、就業支援の業務に有効な研修の機会を得て自己研鑽をすすめる。

JC-NET ショブコーチ実践研修、北海道就業・就労部会連絡協議会、職業リハビリテーション学会ほか

～主任就業支援担当者1名・就業支援担当者1名、就業定着支援担当者1名、生活支援担当者2名

2. 関係機関との連絡会議の開催

○業務の円滑かつ有効な実施に資する為、圏域内5地域ごとの労働行政機関、福祉事業所、相談支援機関、教育・医療機関、企業等との情報共有や意見交換等を各種会議や研修会を通して実施し連携強化を図る。

(年6回)

(4) これらを推進するために次の取り組みを推進する。

○異業種連携・資源開拓、開発

・各地区：障がい者職親会による共同支援体制強化

・後 志：就労支援部会連絡協議会「ワークしりべし」・就労移行支援経験交流会議「@ワークおたる」の主催。

北海道中小企業家同友会

・北海道：北海道障がい者就業・就労支援部会連絡協議会

○職場実習の促進及び職場定着支援の充実

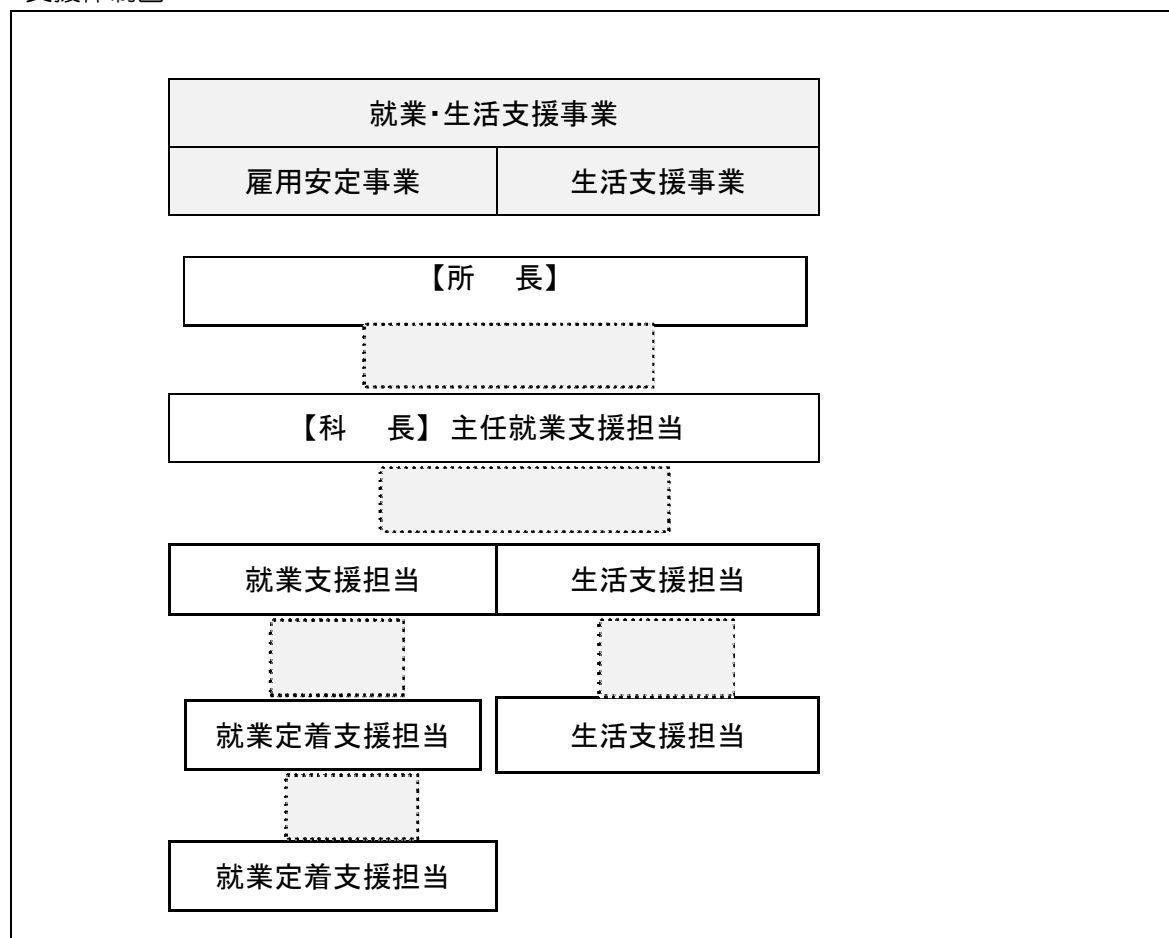
・実習事業所の開拓

・企業が企業人を育てるノウハウを生かす支援

・定着支援担当者の配置及び業務の確立

・定期巡回を始め企業との協力関係の構築

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
在職者交流事業 交流 外出行事 スキルアップ Off JT	月例 年4回未満 月例 年2回	
就労移行支援経験交流会議 @ワーク小樽（アットワーク 小樽） 模擬面接会 企業見学会 ジョブフェス	年4回 年2回 年1回 年2回	地区協議会就労部会と共同
就労支援体制連絡協議会 ワークしりべし	年2回	
北海道中小企業家同友会しりべし・おたる支部	打合 年6回 例会年3回	「障害活き活きフォーラムしごとぶらす」（障害者問題対策委員会）
小樽市障がい者職親会 北海道職親連合会事業対応	適宜	定期総会・研修事業（主催・共催） 総会・委員会
北海道就業・就労支援部会連絡協議会	年2回	

会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
HIROBA 全体会議	月例 翌月初め	ひろば・さぼーと全職員対象 ひろば・さぼーと両会議内容の報告 「事例検討委員会」「権利擁護委員会」報告 職員研修会
就業・生活支援会議	月例 翌月初め	ひろば職員対象 支援状況の確認 「事例検討委員会」「権利擁護委員会」も同時開催
職場定着・開拓会議	月例	所長・科長・定着支援員2名対象 定着支援の状況確認 不安定要素のケース対応の協議 職場開拓情報 職場開拓支援を要する求職者情報
地域連携会議・委員会	実施日	摘 要
協議会	不定期	協議会・就労支援部会・アスリート部会
小樽	月例	協議会・NW 会議・就労支援部会・アスリート部会
北後志	月例	協議会・就労支援部会・アスリート部会
岩宇	月例	協議会・就労支援部会・アスリート部会
羊蹄	月例	協議会・就労支援部会・アスリート部会
南後志	未	未定 南後志相談支援センターと連携
地域移行支援連絡協議会	年3回	精神障害者退院促進事業 科長
発達障害者雇用支援連絡協議会	年2回	札幌市 職業センター 科長
精神障害者雇用支援連絡協議会	年2回	札幌市 職業センター 科長
後志管内特別支援教育連携協議会	年2回	倶知安町 後志教育委員会 所長
難病対策専門部会	年2回	余市町 後志管内保健所 所長
全道就業・生活支援センター連絡会議	年2回	札幌市 北海道労働局 所長・科長
北海道就業・就労部会連絡協議会	年2回	札幌市 所長及び全員
日本職業リハビリテーション学会北海道	年2回	札幌市 職リハ学会北海道 所長及び全員
後志障害福祉計画等圏域連絡会議	年1回	倶知安町 所長
北海道施設協会		地域（相談）支援部会 後志地方会運営会議

研修計画(施設・事業所内研修)

研修名	実施日	摘 要
HIROBA研修	19.5～20.3月	各月のHIROBA全体会議の中で実施
法人職員研修	2019 秋頃	
和光G職員研修	2020.2 頃	

研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会	2019.6	就業支援担当者
就業支援担当者研修	2019.7月頃	千葉県千葉市美浜幕張 職業総合センター 1名
全道就業・生活支援センター職員研修会	2019.7.12月頃	①函館②旭川 連絡会議も開催される場合は主任（必須）各2名
日本障害者職業リハビリテーション学会北海道大会	2019.8月	札幌市内（北星学園大学）3～4名
就業支援基礎研修	2019	札幌ポリテクセンター 職業センター 1名
障がい者就業・生活支援センター東北北海道ブロック連絡会議及び経験交流会議	2019.11月頃	岩手県～1名 就業定着支援担当者
JCネットワーク研修	2019	札幌市 1～2名
相談支援従事者基礎研修	2019	札幌市 1名（主任就業支援担当者）
相談支援従事者現任研修	2019	札幌市 2名（就業定着支援担当者/生活支援担当者）
全国就業支援ネットワーク（より深く考えるフォーラム）	2020.2	東京都～主任就業支援担当者
その他 各団体により開催される日帰り研修に参加	適宜	就労支援技術に関する研修会 医療・教育との連携、理解促進の為に研修 障害種別毎の理解促進に関する研修 （発達・精神・難病・高次脳 他）
サービス管理者研修	2019	講師派遣対応（所長）
就労支援フォーラム NIPPON（日本財団主催）	2019.12	東京都～主任就業支援担当者

権利擁護の推進方針

■一人一人の気づきで組織を育てる。

○ひやりはっと

スタッフ自身と仲間への気づきをチームで共有。どうあるべきか見通しを立てる。

月例会議・スタッフ打ち合わせ（毎朝）

■一人ひとりが調べて学ぶ

○H I R O B Aに研修

権利擁護をテーマに話題提供者が調べて発信、意見交換、情報交換を行う。年4回⇒年2回程度を想定

■良い事例、困った事例、気になる事例から学ぶ

月例会議で話題提供しスタッフ全員で考察する機会

コミュニケーション面談実施計画

■所内コミュニケーション面談

スタッフ個々のニーズに基づく面談で業務への反映を図る。

職員健康診断実施計画

和光学園グループの実施計画に沿って実施

健康診断・インフルエンザワクチン接種・ストレスチェック

施設・事業所の構造

建 物	構 造	鉄筋コンクリート造/陸屋根/地下1階付5階建 ○賃貸部分：3階
	延べ面積	○賃貸部分：3階 事務所 80.00 m ² 駐車場 地下2台 近隣4台
敷地面積		440.00 m ²